



トライエスプログラム®

株式会社オリエンタル観光 本社営業所

2025年 7月度 教育研修記録簿

作成者：株式会社アスア 宮田 雅史

1.実施概要

- 開催日 : 2025年 7月15日(火)
- 開催時間 : 14時00分 ~ 19時20分
- 開催場所 : 2階会議室
- 実施者 : 株式会社アスア 宮田 雅史
- 参加状況 : 16名/16名 (参加率: 100.0% : 別紙参加者リスト参照)
- 安全12項目 :
- 教育区分 : 安全 環境 労務 その他 (法定教育⑦危険の予測及び回避並びに緊急時における)

2.目標と進捗

■ 目標

- ① ミーティング参加率100% (欠席者 フォロー含む)
- ② 走行管理表の記入・提出100%
- ③ 安全教育の仕組みづくり

■ 進捗

No.	目標や課題		対応方法および進捗状況
①	目標	ミーティング参加率100% (欠席者フォロー含む)	【出席率】 7月度MTG出席率: 16/16人 欠席者: 無し 【対応方法】 ・ ミーティング周知ポスターの提示と声掛けと時間割の活用 ・ ミーティング当日の参加状況と管理 ・ ミーティング欠席者フォロー実施 →横急運輸のミーティング日に参加、参加出来ない場合自社フォロー
	課題	・ 参加状況の整理 (声かけや周知) ・ 欠席者フォロー体制の構築	
②	目標	走行管理表の記入・提出100%	・ 2024年4月度分より走行管理表の記入開始 ・ 車両担当者の設定 (車番ごとに車両担当責任者を決定) ⇒出席リストに記載 【2025年6月度記入率】 提出率: 100% ・ 燃費記入: 87.5%、月間燃費: 100% ・ 目標燃費: 31.3%、コメント: 62.5%
	課題	・ 走行管理表の記入・提出率100% ・ 運用ルールの構築	
③	目標	安全教育の仕組みづくり	・ 全員が意欲的にミーティングに参加できる環境を構築する →ミーティングへの参加の呼びかけや目的の共有 ・ 乗務員ミーティング内でのコメントを管理者ミーティングにて共有 →優先順位付けやフィードバック方法などを確立していく
	課題	・ ミーティング出席率 ・ ボトムアップとフィードバック	

3.乗務員ミーティング

■ 議題テーマ：「事故発生時の対処方法」

- ① 走行管理表の記入状況
- ② 燃費推移確認
- ③ 事故推移・事故共有
- ④ 前回の復習（内輪差・オーバーハング実地）
- ⑤ 今回のポイント（事故後の対応）
- ⑥ 法定教育項目⑦危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法

■ 今回のポイント

- ・ 万が一事故が発生した場合、冷静な対処が必要になるため対処手順の確認と事例を基に対応方法のトレーニングを実施
- ・ 交通事故だけでなく、乗客が転倒した場合なども同様に事故対応を的確・迅速に対応できるようにする

まとめ（事故後の対応）

万が一に備え事故後の対応について覚えておきましょう。

＜事故発生後の対応手順：第1優先は人命救助です＞

ステップ① 負傷者の救護	・ただちにトラックの運転を停止し、人や物に対する被害状況を確認する ・負傷者がいる場合は ただちに救護 し、必要があれば周囲に 救急車の手配 などを求める
ステップ② 道路における危険の防止	・ 事故車両を安全な場所に移動 させ「ハザードランプを点灯」、「発炎筒を着火」 「停止表示器材を設置(高速道路走行時)」し他の自動車に 事故の発生を知らせる
ステップ③ 安全な場所への退避	・負傷者の救護や道路における危険の防止などの措置を行ったら、車内や路上で待機せず、速やかにガードレールの外側などの 安全な場所へ退避 する
ステップ④ 警察への報告	・ただちに最寄りの警察署・交番・駐在所の 警察官に連絡 し、交通事故が発生した「日時・場所」、「死傷者の数」および「負傷者の負傷の程度」などを報告する
ステップ⑤ 会社への報告	・上記①～④の措置が終わったら、 速やかに会社に報告 する (会社は必要に応じて国土交通省などに報告しなければなりません)

※参考：国土交通省「自動車運送事業者が事業用自動車の運転者に対して行う一般的な指導及び監督の実施マニュアル」より

ANZEN KYOKU SLIDE

項目7 危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法

指導及び監督指針
(国土交通省「アスア」より)

●指差呼称及び安全呼称
日常点検や運転行動に指差呼称・安全呼称を加え、確実なものにしましょう。



指差呼称は、運転者の
などを制止するための手段、
などを指で
差し、合わせてその対象が持つ名称
や状態を声に出して確認。
●安全確認に重要な運転者の意識
レベルを高めるなど、自動車事故
防止対策に有効な手段の一つ。

指差呼称・安全呼称は見た・聞いた・判断していることを
しなから行いましょう。

誤判断・誤操作
錯覚
道路の信号や標識

©ASUA Co., Ltd. All rights reserved.

■ 参加者コメント（抜粋）

- ・ 物損事故は過去にあるが、交通事故はないため実際その場で冷静な対応が取れるかどうか。対応の手順としては把握しているのでまずは、事故を起こさない運転を心掛ける。
- ・ この前ニュースで当て逃げの事例が上がっていたが、事故した時点で大きい小さい関係なく警察には連絡をしないといけない。
- ・ 万が一、車内で事故が発生した場合の対応フローチャートなどもあるとよいと思う。
- ・ 交通事故が発生した場所や損害相場などによっても、対処手順などは違ってくると思う。ただ、2次被害があると乗客に怪我人が出てもいけないので、乗客は安全な所へ降りてもらおうと思う。

【法定教育項目について】

- ・ 指差呼称は運転中に実施している。カーブミラーの確認や右左折する際など実施している。
- ・ 指差呼称までは実施していないが、左折時の巻き込みが怖いので自転車や歩行者がいないかなど意識的に確認できていると思う。

■ 所見

今回は事故発生時の対処方法について改めて対処手順などを順番に確認いたしました。また、他社事故の事例を基に対応方法のトレーニングを実施いたしました。基本対処手順としては皆さん把握されていましたが、大きな事故や高速道路上などで万が一事故が発生した場合を想定しトレーニングを実施いたしました。

4.管理者ミーティング

- 開催日 : 2025年 7月15日(火)
- 開催時間 : 15時30分 ~ 16時30分
- 参加者 長谷川社長、藤巻部長、野村氏、岩本氏、片桐氏
- 欠席者
- 議題 テーマ「事故発生時の対処方法」
 - ① ミーティング出席 欠席者フォローについて
 - ② 走行管理表の状況
 - ③ 燃費推移
 - ④ 事故推移
 - ⑤ 事故発生時の対処方法

■ 議事録

No.	議題	内容
①	ミーティング出席 欠席者フォローについて	・ ミーティング出席：16人/16人（100%） ※別紙、出席リストを参照ください ・ 欠席者フォロー：無し
②	走行管理表の状況	・ 6月度走行管理表提出率：100% ・ 燃費記入：87.5%、月間燃費：100% ・ 目標燃費：31.3%、コメント：62.5% ⇒回収時、走行管理表未記入箇所を声かけして記入してもらう
③	燃費推移	・ 全体燃費：3.84km/ℓ ※異常燃費無し ・ 各車両の走行管理表記入状況を配布
④	事故推移	・ 活動1年目（2025.3～ミーティング現在）事故総数4件 車両事故4件、その他事故0件 ※昨年同月対比2件減少 ・ 6月度：車両事故無し、7月度：車両事故無し（ミーティング時点） ・ 事故報告書記入時、本人の対策を具体的に記入してもらう
⑤	事故発生時の対処方法	・ 交通事故発生時の対処方法についてのフローを確認実施 ⇒車内人身事故も交通事故発生時の対処フローと同じ

■ 所見

今回は事故発生時の対処方法のフローについて確認させていただき、各乗務員の方に再度配布をさせていただきま
した。事故が発生した際、会社にも連絡が入りますので、管理者様は電話にて対処フロー通り対応出来ているかな
ど冷静な対応が出来るように事故が無い場合でも定期的に確認をお願いいたします。

5.その他

■ 連絡事項

■ 配布資料

- ① キックオフミーティング議事録（本紙）
- ② ミーティングスライド
- ③ ミーティング参加者一覧
- ④ 走行管理表（9月分）
- ⑤ 事故集計表
- ⑥ 法定教育項目⑦法定教育⑦危険の予測及び回避並びに緊急時における対応方法（穴埋め・解答）

■ 実施状況写真



■ 次回ミーティング日時

- ・乗務員ミーティング 2025年 8月19日(火)
 15時00分～
- ・管理者ミーティング 2025年 8月19日(火)
 14時00分～

～今月もお疲れさまでした。次月もよろしくお願いします～